

ゆうこうの家の通信 VOL. 8

発行：発達・心理相談センター 「ゆうこうの家」
住所：名古屋市天白区表山 1-1753-2
電話： 052(880)7704

「ゆうこうの家」は、発達障がいを始めとする障がいや、こころの問題をもつ人々に対し、療育やカウンセリングを中心とした支援活動を行い、より健やかで豊かな成長と、社会への適応を支援することを目的としています。「ゆうこうの家」通信は職員や利用者の家族の編集・取材・協力により不定期に発行しています。利用者の方、これから御利用を考えていらっしゃる方の参考になりましたら幸いです。

2016 年には、皆様のご支援のおかげで、ゆうこうの家も開設 10 周年を迎えることができました。そこでこの特別な 1 年、いくつものイベントを実施しました。今回は当時の写真を交えてそれらを振り返っていきます。

10 周年記念 教育講演会

今回の教育講演会は、医療法人 tsukushi つくしこころクリニック 院長の高野磨美先生をお招きして、『発達障害児者につかわれるお薬について～当事者・保護者に知って欲しいこと～』と題し、ご講演いただきました。保護者の中にはお薬について誤解されている方が少なくありません。例えば「成長が止まるのでは？」「チックが出るのでは？」そんな不安や疑問などを詳しく解説していただけたので、講演後にお薬を試してみようと考え直した方も見受けられたようです。

ゆうこうの家の子どもたちも、お薬を飲んでいる子がとても多いので、今後も保護者の方々にも正しい知識を身につけてもらいながら、医療と心理・教育とが連携し、より包括的に子どもたちを支援していけたらと願っています。

豆知識講座「鉄道仲間、全員集合！」



7 月 16 日に、豆知識講座を開催しました。「鉄道」が大好きなのは子どもに限らず大人や非会員の方も多いようで、たくさんのご参加をいただきました。講師の加藤文昭先生は、市民講座もお願いされるほど、とても鉄道に詳しい方です。ゆうこうの子どもが通っていた学校の元教頭先生というご縁から、講座のお願いも快諾していただきました。

元学校の先生だけあって軽快なトークで内容も幅広く、また、鉄道のことなら言葉をぼんぼん投げってくる子どもたちにも、実に見事なタイミングと技で返して下さりながらの講演は、まるで聖徳太子のようでした。

ゆうこうお泊まり & キャンプ (大高・若狭)

◇大高編 7 月 25～29 日に、恒例となった大高（名古屋市青少年宿泊センター）へ集団宿泊してきました。25～27 日は、主に通常学級の子どもたちが 14 名、28～29 日は、主に支援学級の子どもが 6 名とその妹さんが 2 名、計 8 名の子どもが参加です。日中は、大高緑地



公園内にあるプールへ。ここは、子どもを連れてきた団体がよく来るそうですが、ゆうこうの家は、スタッフ 7 名総員でプールの周りを囲んで常に監視です。中央の方まで入ってしまうと子どもたち全体の様子が見えなくなるので、暑くてもプールサイドで見守り重視！子供の安全第一！するとプールの監視員さんに感心され、お褒めの言葉をいただいちゃいました～！

スタッフは、24 時間 5 日連続でしたが、疲れより、慣れていく方が早く、日を増すごとに楽になっていったとのこと（本当かな？）。なにはともあれ、毎年スタッフの皆さんの子どもたちへの想いと労力に感謝です。



◇若狭編 8月9日～11日に、恒例の若狭湾に行ってきました。飽きないように毎年ごとに異なるイベントを提供しております。今回もスタッフが下見に行ったり入念に考え抜いての企画を揃え、イカダの組立や海水を使ったうどん作りなど、初チャレンジめじる押し！

イカダ作りはシンプルイズベスト！浮きと細い丸太をロープで縛るのみ！しかし砂場という足場の悪い中、重い丸太を運ぶだけでも一苦勞なのです。が、中学生以上の男子勢が、せっせと運んでくれたため、イカダは無事完成。さすが中学生にもなると頼もしいです。難しい縛り方も何とかクリア。さあ海へ出航！ところが人の重みで沈んでしまう～？いえいえ、最後まで沈没することなく、みんなで力を合わせて無事に戻ってくることができました。目的地は？先生が泳いで助けに行けるところまでです（どこまでも行けちゃいます）。

さて次は海水を使ったうどん作りですが、驚いたことに、コップに汲んできた海水をそのまま使用するのは。麺を作る際に、海水を使うと、コシが出て美味しいのだとか。入れすぎると硬くなるのでご注意をとのこと。グループによっては、麺の硬さや太さもまちまちでしたが、海水の塩辛さなんて気にならないくらい、意外と美味しくいただきます。ごちそうさま、そしてお疲れ様でした。

就 労 実 習

5月29日、10月30日に、就労実習を行いました。将来、就職して自立する時、指示通りに作業できることを目指します。小学生から中学生まで参加しており、毎回、実習で作るクッキー（ゆうこうパリッ

とクッキー）は、持ち帰った保護者の方たちに好評で、“〇〇〇おばさんのクッキー”みたいと言ってもらえることも。余ったクッキーはスタッフでいただくので、美味しくてついつい、食べ過ぎてしまいます…。



絵画教室・造形教室



9月11日に絵画教室、11月13日に造形教室を行いました。講師には、賛助会員で造形芸術に詳しい森佐知子先生をお招きです。

造形教室では、カラードフォルムという紙を使って、飾れる帽子を作ります。初めての立体的な作品作りとあって、悪戦苦闘

する場面も多くありましたが、先生のご助言でユニークな作品がたくさん仕上がりました。オリジナリティに富んだ出来に子どもたちもご満悦の様子でした。

コスモスと将棋クラブ

◇コスモス 平成 28 年度から始めたとても静かな女子グループ「コスモス」には、4 人が参加です。

コスモスの花ことば「乙女の真心」・「調和」・「謙虚」のとおり「謙虚」な女の子たちが、絵画に関連した創作活動に取り組みます。

元々絵が上手な子もいますが、他の女の子たちもとても上手に、かつ丁寧に作品を作り上げていく様は、とても静かな空間を生み出していました。みんながリラックスして、楽しみに通える場所になっていけたらと思います。

◇将棋クラブ 女子グループ「コスモス」と同様、平成 28 年度より開始した「将棋クラブ」は、10 名以上の男の子たちが、賑やかな雰囲気の中、将棋をさしています。

小学生を中心とした元気な男の子たちが、対戦相手を変えながら切磋琢磨する様は「コスモス」とは正反対なのが面白いですね。中には、とても強い子もいるので、「ゆうこうの家」オリジナルの 16 マス将棋なども取り入れながら、初心者でも勝てる可能性のある将棋などを目指しています。

コスモスも将棋も鉄道も、共通して言えることは、子どもたちの好きなことへの集中力は大人をはるかにしのぐほどすごくて、目を見張るものがあるということでしょう。



ありがとうございます・よろしくお祈いします

ゆうこうの家でみなさんと一緒ががんばってきた小山先生が、この度、退職されることになりました。そして、李 淳美（り すんみ）さんが、スタッフに加入します。

小山先生からのコメント

8 年間、ゆうこうの家でお世話になりました。ゆうこうの家で出会った、たくさんの方々から学ばせていただいたことは、私の宝です。今後も、新しい環境で、引き続き精進していきたくと思います。長い間、本当にありがとうございました。

李 淳美さんの自己紹介

新しくスタッフに加わりました李 淳美（り すんみ）です。世界一短い苗字、ぜひ覚えて下さい。お力になれるよう、日々コツコツと努力します。奈良の野山で育ち、大人になってからいろんな国で暮らした経験があります。一年前からゆうこうの家にボランティアで参加し、スタッフのみなさんの誠実さに惹かれ、そしてゆうこうの家は就学後、青年期や成人された方々へのサポートにも取り組んでおられると伺い、「ここでぜひ働かせて頂けたら」と真剣に思いました。趣味は、サッカー観戦と B 級グルメ、読書。人が大好き、近所のおばちゃんとも仲良しです。

代 表 挨拶

NPO 法人「ゆうこうの家」は、たくさんの方々のご協力のもと、今年で設立 11 年目に入りました。よちよち歩きから、思春期になったというところでしょうか。NPO 法人としてそろそろ自立を目指したいところです。その一環として、老朽化した施設の建て替えと同時に就労支援施設との協同を計画しているところです。利用者さんが、働いて収入を得ることで、社会参加の喜びを感じ、利用者さん自身が自立することをサポートしていけたらと願っています。今後も一層のお力添えをお願い申し上げます。

ゆうこうの家 この一年

